

令和7年度 第2回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月25日（金）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 きくももホール  
会議室
- 3 出席委員 大畑耐智子 小野田和弘 杉本真弓 小野田哲也 山本浩司  
越川真優子（学校支援CD兼務） 神田綾乃（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員）村上昌義（可美協働センター長）
- 6 学 校 鈴木右二（校長） 高木悦代（教頭） 浅井美幸（主幹教諭）  
長谷川明美（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）  
他 31人
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 9 開催要件の確認 司会の高木教頭から委員総数7名全員の出席があり、過半数に達しているので会議が成立している旨の報告があった。
- 10 議長選出 大畑会長で前回決定している。全員了承。
- 11 協議事項 (1) 前期学校評価について（教員を交えてきくももホールにて話し合い）  
(2) きくももホールでの熟議の振り返り
- 12 会議記録  
(1) 前期学校評価について、別紙資料に基づき、浅井主幹教諭から説明があった。  
学校評価の結果が①高い項目 さらに伸ばすには ②低い項目 伸ばすには  
③あいさつ 正しい言葉遣いについて 3項目について教員を交えて、学年ごとに話し合いを行った。  
《なかよし》  
① 「安心して楽しく学校生活を送っている」  
・大人（教員・支援員）が多く、慣れたメンバーも多い。雰囲気も良い。個に対して対応できている。  
・この項目が高いのは、日頃の指導のあらわれでとても嬉しいことである。  
② 「調べたり話し合ったりする活動に意欲的に取り組んでいる」  
・個人差があるため、話し合いが難しい。学習では構えてしまうので、遊びと絡めながら話し合いができれば良い。それを実生活に活かしたい。  
③ 基本的には気持ちの良いあいさつが出来る。その場その場に応じたあいさつの指導をしていきたい。  
《1年》  
① 「進んで外遊びや体力作りをしている」  
・元気に外遊びをする児童が多いが、1学期後半は気温が高く、外に出るのが減った。その様な時は、体育館を開放したり、アラート等で出られない時は、異学年交流や室内で楽しむことを考える。

②「好き嫌いなく食事をしている」

- ・食が細い。見た目では食べる気にならない。家庭での様子をアンケートで取るのはどうか？
- ・改善するには家庭との連携が大切。可能ならレシピを公開し、家庭で作って食べてみたり、栄養面を伝えたりする。食べられる物を増やし、①の体力作りにつなげたい。

《2年》

①「授業が楽しい」

- ・少しずつ出来る達成感を高めていく。7%のわからないと思っている児童に対してどうわからせていくか。「わかる」児童と「わからない」児童の関わりの方を設ける。

②「好き嫌いなく食事をしている」

- ・個人差が大きい。1口でも食べられるようチャレンジさせたい。給食の良さを伝える。

③ あいさつはできている。言葉遣いに関しては指導していく。

《3年》

①「タブレットを使った学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる」

- ・2学期以降ローマ字を習うともっと幅が出る。モラルの徹底の難しさ。学びの道具としてどう使うか。従来の学習方法とタブレットをうまく使い分けていく。

②「安心して楽しく学校生活を送っている」

- ・1割程度がそう思っていない。元気があり、自我もでき、パワーが有り余っているので落ち着かない様子。そこに対する不安がある。エネルギー発散の仕方を工夫する。

《4年》

①「係や委員会の仕事を一生懸命頑張っている」

- ・自主的に出来る学年である。当番活動だけでなく、係活動を推進していく。どんな係が必要かを子供に考えさせ、自信をつけさせる。

②「進んで外遊びや体力作りをしている」

- ・様々な活動が充実しているため、外遊びをする機会があまりない。イベントを計画し、機会を増やす。朝活動で外遊びの時間を設定する。

③ 地域の方々が見て下さっている中で、「あいさつ頑張っているよ」と言ってくださっている。あいさつ推進校としての結果がでている。あいさつのイベントを促進する。言葉の出ない子は、会釈等のあいさつができるといい。

《5年》

①「タブレットを使った学習に興味・関心をもち、意欲的に取り組んでいる」

- ・タブレットの授業での活用場面高い。苦手意識のある児童への支援として、タイピングの練習時間をとったり、音声入力や手書き入力の導入等学習環境の整備。

②「進んで外遊びや体力作りをしている」

- ・外遊びの種類を増やしていく。女子は日焼けを気にして外に行かない子もいるので、雨でなくても体育館を開放してもらえたらいいと思う。

③ PTAのあいさつ当番で自分の保護者を見つけると嬉しそう。積極的に協力体制を整えて頂きたい。「名前+あいさつ」(~さんおはよう)「あいさつ+一言付け加える」(おはよう、今日は暑いね等)返事が返ってくるようにあいさつをする。

《6年》

- ①「係や委員会を頑張っている」「安全や健康に気を付けて生活している」
- ・安全については、子どものじゃれ合いを危ないと教員は感じている。交通安全リーダーと語る会等で高い意識を持つことが出来た。
  - ・学校の代表として委員会を頑張っていることが、高い評価につながって良かった。
- ②「すすんで外遊びや体力作りをしている」
- ・委員会を頑張っている反面、低くなってしまった。体育の授業からアプローチしていれば良いと思う。
- ③ 地域の方々は、あいさつはよくしてくれると言って下さっている。  
ねばり強く指導していきたい。

(2) きくももホールでの熟議の振り返り

○学年ごとでそれぞれに違うことも分かり、良かった。学校評価に基づき話し合ったが先生と子ども達との間に評価の差があるのは、見方（視点）が違うからだと思う。

（大畑会長）

○言葉遣いについて、ユーチューブなどの影響もあると思う。それによって悪い言葉を知る。お前くそだなとか死ねとか。（小野田哲也委員）

○言葉づかいを注意する大人は必要。学校で注意されたら、家庭で「その言葉づかいよくないね」と賛同を得られる家庭環境は大事。先生が悪い言葉づかいに気付いたらさくらメールで注意を促すのはどうか？（大畑会長）

○あいさつのできる、できないも家庭によると思う。親が子どもにしっかりしていれば子どももする。「～くん、おはよう」と名前を呼んで起こすと、素直に起きる。

（神田委員）

○言葉づかいの注意のお知らせは、「このような言葉はよくないですよ」と事例を紹介すると保護者も気付いてくれるかもしれない。（小野田オブザーバー）

○ふわふわ言葉、ちくちく言葉 学校でやっていることを伝えて、家での様子を聞いてみるのはどうか。ふわふわ言葉はいい。（杉本副会長）

○親子でふわふわ言葉を使ってみるのはどうか。その後あいさつキャンペーンを親子で取り組んでみるのがいいと思う。（神田委員）

○給食のレシピが公開されれば、作って子供と話せる機会が作れる。（山本委員）

○給食との関わり、レシピ公開はいいと思う。子ども達が何を食べているのかを知ることは大切。（大畑会長）

→毎日写真をブログにあげている（校長）

○地産地消のものはレシピ載っている。（越川委員）

○残飯の量を子ども達に分かりやすく説明し、残飯を減らす努力をするのはどうか。

（杉本副会長）

→気にしすぎると学校に来るのが嫌になる子がいる。（校長）

告 学校支援コーディネーターからの活動報告（越川委員）

1学期に行ったボランティア

3年生 校外学習 付き添い

1年生 プールの見守り

5～6年 家庭科 補助

5年生 糸のこ

58名の参加があった。10名ほどで、ふりかえりの会を行った。

- ・ボランティアを可美小でも募集されてうれしい。という意見が多かった。  
参観会ではない学校での様子が見れるのが良い。学年が違っても参加したいとの意見があった。
- ・ボランティア応募の集計方法について課題があるので、改善する。

## 15 連絡

- (1) 次回開催日時 令和7年12月9日(火) 10:00～12:00 会議室
- (2) 次回の議長は大畑会長 全員一致で承認された。
- (3) 次回の熟議内容 「全国学力・学習状況調査を振り返って」  
「学校運営に必要な支援について」